

開催します!

# 大野もとひろと 日本一暮らしやすい埼玉をつくる会

皆様におかれましてはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より、埼玉県知事大野もとひろ君の県政運営に、ご理解とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、2期目も精力的に県政運営に取り組んでいる大野もとひろ君も、今夏をもって2期目の折り返しを迎えることとなりました。この間も継続して「急速に進む少子高齢化」と「激甚化、頻発化する災害」という大きな課題への適切な対策を進めており、「日本一暮らしやすい埼玉」を実現しようとするその手腕は高く評価されております。このような大野もとひろ君の県政運営への期待と称賛の声をいただく度、応援する我々も嬉しく、ご支援いただく皆様への感謝の想いがあふれてまいります。

大野もとひろ君が県政の課題解決とより良い埼玉県政治を実現するために、後顧の憂いなく最大限尽力できるよう、後援会として、心ある個人・法人の皆様からのご厚志を賜る機会を設け、普段多忙を極める知事である大野もとひろ君と皆様との交流の場とさせていただきたく、「政治資金パーティー」を開催させていただきます。

県政を担う類まれな辣腕を振るう大野もとひろ君の後押しとして、ぜひご参集を賜りたく、謹んでご案内申し上げます。

「大野もとひろと日本一暮らしやすい埼玉をつくる会」実行委員長  
大野もとひろ後援会 会長 金井 忠男

**開催日** 令和7年**10月7日(火)**  
**開会** 18:00(17:00より受付開始)  
**会場** ロイヤルパインズホテル浦和  
埼玉県さいたま市浦和区仲町2-5-1  
※駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。  
**会費** 一口 20,000円  
■お申し込み・お問い合わせ先  
「大野もとひろと日本一暮らしやすい埼玉をつくる会」事務局  
埼玉県川口市栄町2-1-11 ブランズ川口栄町パークフロント103  
**TEL** 048-271-5252 **FAX** 048-271-5200  
**メール** saitama@oonomotohiro.jp



※この催しは、政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。

埼玉県知事 大野もとひろ 後援会 会報

# FRONT LINE

フロンティアライン



第**11**号  
令和7年7月発行

2025年も半年が過ぎましたが、日本を取り巻く環境は大きく変化し、予測の難しい時代となっています。企業が労働生産性の向上を実現し物価上昇を上回る賃上げと持続的発展を成し遂げるために、適正な価格転嫁が不可欠です。しかし価格転嫁ができないままに人材確保のための防衛的賃上げを余儀なくされる企業も少なくありません。このため、大野もとひろ知事は自ら旗振り役となって、価格交渉支援ツールの開発・提供、価格転嫁宣言の促進、価格転嫁サポーター制度の創設と4,000名以上の金融機関職員の研修等、国や他の都道府県に先行し、実践的で先駆的な取り組みをリードしてきました。

このような先駆的な取り組みに加え、原材料費の高騰やエネルギー価格等の先行きの不透明さ、困難な人材確保等に対応する行政による事業者支援策が一目でわかるようにした事業者支援情報検索アプリを独自に開発しました。また、スタートアップ企業の支援やファンド

などとのマッチング等を行うオープン・イノベーションのための「渋沢MIX」も開設しました。

年初に発生した八潮市の事故は、極めて大規模な災害に移行すると共に、これまで誰も経験したことのない事案として、点検・検査方法の抜本的見直し、更新方法の確立、更新時や事故の際の財源の在り方等、大きな課題を白日の下にさらしました。「作ってしまったが、あとは点検方法も更新方法もわかりませんでした」という危機的状況を打破するため、事故が起こった県の責任として、国に対して責任ある下水道の未来を作るよう提言し、みんなが安心できる日本の先駆けとしてまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 事業者支援情報検索アプリの提供を開始!



「行政の事業者支援が縦割りでわかりにくい」「国、県内市町村の支援をどう組み合わせればいいのかわからない」「どこを見ると行政の支援の概要が分かるのか」こんなお声を、しばしば耳にします。そこで埼玉県では、全国に先駆けて、国、県内市町村の事業者向け支援情報をワンストップで検索できるアプリを開発し、県ホームページやスマートフォンで確認できます。会社の所在地と業種、企業規模などを選択するだけで、受けられる支援が一目でわかります。

補助金はあるが、どんな補助金があるのかわからない??

### 「事業者支援情報検索アプリ」の特長

- 国、県内市町村の事業者向け支援制度をワンストップで検索が可能
- 毎週更新し最新情報を掲載
- 企業規模や業種、所在地、支援分野などによる絞り込みが可能
- 個別事業ページへのリンク掲載により詳細情報へのアクセスが便利

スマートフォンにも対応



大野もとひろ後援会事務所

〒332-0017 埼玉県川口市栄町2-1-11 ブランズ川口栄町パークフロント103

**TEL** 048-271-5252 **FAX** 048-271-5200

**メール** saitama@oonomotohiro.jp

大野もとひろオフィシャルサイト▶



編集・発行／彩裕会



令和7年7月25日(金)

# 渋沢MIX さいたま新都心にオープン!

所在地 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-18  
「ekism(エキスム)さいたま新都心」5階

## 概要

「渋沢MIX」は、本県出身の偉人渋沢栄一翁が、適切な人と企業をマッチングすることで企業を成長に導いたことに倣い、人々が出会い・つながり・共創することで新たなイノベーションが創出される場を目指す拠点です。本施設では、オープン・イノベーションの創出・促進、スタートアップの創出・成長支援、イノベーションを担う人材の育成の3つをコンセプトに様々な取組を展開します。



## BEST FATHER AWARDS 2025

### ベスト・ファーザー イエローリボン賞〈政治部門〉を受賞しました!

この度、光栄な賞をいただき身の引き締まる思いです。これからも、すべてのこどもにとって安心できる「居場所」づくりに、全力で取り組んでいきます。

誰もがこどもを安心して産み、育てられる社会へ。日本一暮らしやすい埼玉を目指し、子育て支援の充実これから力点を注いでまいります。



3人の子供を妻と育てました



育児時代の一コマ



## New! 大野もとひろのホームページをリニューアルしました!

デザインも中身も、新しく、見やすく! 知りたい情報にすぐ届く、使いやすいホームページに生まれ変わりました。新着情報や政策、活動報告なども、これまで以上にわかりやすくご紹介しています。スマートフォンからも快適にご覧いただけます!

ぜひ一度アクセスして、新しくなった「大野もとひろ公式サイト」をのぞいてみてください。

新しい  
ホームページは  
こちら!



<https://oonomotohiro.jp>

## 八潮市陥没事故への対応と再発防止に向けた提言

八潮市で発生した陥没事故について、改めてお亡くなりになられた方の御冥福をお祈りするとともに、御家族、関係者の皆様にお悔やみ申し上げます。今回の事故は、「原因が分からない」「点検方法が適切かどうか分からない」「更新方法が存在しない」「いつ更新すればよいか分からない」「市町村の消防が担いきれない事故を県等が引き継ぐ想定が存在しない」などのさまざまな前代未聞・未想定 of 教訓を残しました。

県としては、前例のない大規模事故が発生した自治体として、第三者の専門家で構成する原因究明委員会で徹底的に原因を究明し、二度とこの国でこのような事故を発生させないよう全国に発信し、国と共に未解決の諸課題に取り組んでまいります。

### 初期の動き

- 2025
- 1月28日 事故発生、市消防が事故として対応
  - 1月29日 市消防の対応が難しい状況を踏まえ、午前五時に県危機対策会議開催。消防庁、国土交通省、自衛隊等が検討も、市消防以上の対応は困難との見解。内閣府は、今回の事故は災害救助法を適用する災害にはあたらないとの見解。  
県・市・消防庁・自衛隊の連携スタート
  - 2月11日 市消防、自衛隊等が救助活動を実質断念したこと受け、県として工事による掘削を決断。内閣府は1月29日に遡っての災害救助法適用に同意し、災害対策本部を立ち上げ。

### 突きつけられた前代未聞の課題

- 40年以上使用してほぼ問題が確認されてこなかった地点が3年間の短さで陥没した原因が不明
- 国の基準以上のきめ細かさで点検・調査を行ってきたにもかかわらず陥没
- 我が国では3m以上の内径の流域下水道を更新した経験がなく、技術も確立していない
- 更新や事故対応の際の財源をどうするかというルールが不在
- 市消防が手におえず災害対応となる場合が想定されておらず、連携の前提もない
- 地球12周分の下水道、作った方がいいが今後への現実的な対応方法なし

### 我が国に突き付けられた下水道インフラ固有の課題を提言、国と共に安心安全の確立に努めていく

- 原因の徹底究明
- 点検・調査の頻度と手法の抜本的見直しと確立
- 更新時期の抜本的見直し
- 3m以上内径管渠の更新方法の確立
- 民間主導のウォーターPPP導入の前に、万が一の場合だれが負担するかのルール策定
- 事故から災害に移行する際の連絡・連携ルールと組織の策定



2月20日 石破首相へ要望

### 大野もとひろのプロファイル



昭和38年埼玉県川口市生まれ。慶應義塾大学卒。国際大学修士課程修了、中東調査会参与。中東諸国の大使館勤務などを経て、東京大学、青山学院大学大学院、日本大学などで教鞭を執る。

イラク戦争時には衆議院で参考人として「イラクの大量破壊兵器は外国に脅威を及ぼさない」と発言し一石を投じる。企業経営のかたわら世界最大の社会奉仕団体ライオンズクラブで史上最年少のガバナー(埼玉県の代表)としてボランティア活動に従事。

平成22年参議院議員埼玉県選挙区で初当選後は「動的防衛力構想」を構築した同23年防衛大綱起案に関与。

同24年防衛大臣政務官兼内閣府大臣政務官。その後、党ネクスト防衛大臣として日本の領土領海を守る「領海警備法案」等を起草。

令和元年8月、埼玉県知事選挙に挑戦し当選。1期目は、豚熱や台風19号、新型コロナウイルス感染症が相次ぐ中、随所で危機管理専門家としての本領を発揮。この間に知事選の公約106項目(全129項目)にも着手。

令和5年8月の埼玉県知事選挙にて再び当選、現在2期目。学生時代はアメフト、柔道(初段)、水泳に没頭。落語や音楽が好きな3人の子どもの父親。祖父は元川口市長の大野元美氏。